

2024年5月31日

暮らし向きや物価に関する調査について

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

[調査の概要]	
調査目的	県民の暮らし向きや収入、支出動向を調査し、消費の現状を把握するとともに、今後の消費がどのように変化していくか見通しを示し、卸・小売事業者などの事業活動に利用してもらうことを目的とする。
調査時期	2024年5月上旬
調査方法	南日本新聞社の「みなみパス会員」による「みなみアンケート」(インターネット調査)にて実施
回答数	有効回答数 600人
回答者属性	【性別】 男性 49.2% 女性 49.0% 不明 1.8% 【年齢別】 10代 1.0% 20代 3.0% 30代 19.3% 40代 13.2% 50代 25.8% 60代 28.5% 70代以上 9.2% 【地域別】 鹿児島地区 46.5% 南薩地区 11.8% 北薩地区 12.2% 始良・伊佐地区 17.2% 大隅地区 9.2% 熊毛・大島地区 3.2%

用語 D. I. = 「良い(良くなる)」- 「悪い(悪くなる)」、「増えた(増える)」- 「減った(減る)」、いずれも回答割合

【調査結果のポイント】

- 現在の暮らし向きについては「普通」が 48.3%と最も多く、次に「悪い」(34.8%)、「良い」(16.9%)の順となり、D.I.は▲17.9となり前年(▲24.0)から 6.1ポイント上昇したものの、今後の暮らし向きについての見方は厳しい状態が続く。
- 将来の経済的な不安要素については、「物価上昇」が 74.3%と最も多く、「税金・社会保障の負担増」(56.3%)、「医療・介護費の負担増」(56.2%)が続いた。
- 1年前と比較した家計収入については、「変わらない」が 48.2%と最も多く、次に「減った」(29.9%)、「増えた」(22.0%)の順となり、D.I.は▲7.9となった。一方で、企業等から給与・賃金をもらっている人の D.I.は 12.8となった。
- 1年前と比較した家計支出については、「増えた」が 78.5%と最も多く、次に「変わらない」(16.7%)、「減った」(4.8%)の順となり、D.I.は 73.7となった。
- 1年前と比較した物価水準は 96.9%が「上がった」と感じている。

(1) 現在の暮らし向き

現在の暮らし向きについては「普通」が 48.3%と最も多く、次に「悪い」(「悪い」と「どちらかという悪い」の合計) 34.8%、「良い」(「良い」と「どちらかという良い」の合計) 16.9%の順となった(図表 1)。その結果 D.I.は▲17.9となり、前回調査(2023年6月)から 6.1ポイント上昇した。

D.I.を男女別にみると女性より男性のほうが低く、年代別にみると 10代を除く全ての年代でマイナスとなったが、40代、50代は大幅に改善した(図表 2)。

(2) 今後の暮らし向き

今後の暮らし向きについては「悪くなる」(「悪くなる」と「やや悪くなる」の合計)が 46.8%と最も多く、次いで、「変わらない」38.2%、「良くなる」(「良くなる」と「やや良くなる」の合計) 15.0%の順となった(図表 3)。D.I.は▲31.8と前回調査並みとなった。D.I.を年代別にみると、10代を除く全ての年代でマイナスとなっており、年代が上がるほど先行きに対しての見方は厳しい状態となっている(図表 4)。

(3) 将来の経済的な不安要素

将来の経済的な不安要素については、前回調査同様「物価上昇」が74.3%と最も多くなり、以下、「税金・社会保障の負担増」(56.3%)、「医療・介護費の負担増」(56.2%)、「年金問題」(51.7%)の順となっている(図表5-1)。前回調査と比較して「物価上昇」が10.0ポイント上昇した一方で、「収入減」(44.5%)が19.7ポイント、「雇用不安(失業)」が6.4ポイント下落した(図表5-2)。年代別では20代を除く全ての年代で「物価上昇」が最多となった(図表5-1)。

(4) 家計収入

1年前と比較した家計収入は「変わらない」が48.2%と最も多く、次いで「減った」(「減った」と「やや減った」の合計)29.9%、「増えた」(「増えた」と「やや増えた」の合計)22.0%の順となった(図表6)。D.I.は▲7.9と前回調査から5.4ポイント上昇し、マイナス幅が縮小した。

また、**今後の家計収入の増減**については「変わらない」が49.8%と最も多く、次いで「減る」(「減る」と「やや減る」の合計)31.7%、「増える」(「増える」と「やや増える」の合計)18.5%となり、D.I.は▲13.2となった(図表8)。

年代別のD.I.をみると、全ての年代で「1年前と比較した家計収入」は改善し、20～40代は「1年前と比較した家計収入」「今後の家計収入」がいずれもプラスとなった(図表7、9)。

(5) 給与・賃金¹

1年前と比較した給与・賃金は「変わらない」が50.4%と最も多く、次いで「増えた」(「増えた」と「やや増えた」の合計)31.2%、「減った」(「減った」と「やや減った」の合計)18.4%の順となった(図表10)。D.I.は12.8となり、家計収入D.I.(1年前比、図表6)よりも高水準となった。全国同様、県内においても賃上げの動きが広がっていることがうかがえる。

また、**今後の給与・賃金の増減**については「変わらない」が59.0%と最も多く、次いで「増える」(「増える」と「やや増える」の合計)21.8%、「減る」(「減る」と「やや減る」の合計)19.1%となり、D.I.は2.7となった(図表11)。賃上げの持続力については、弱気な見方が増えた。

¹ 企業等から給与・賃金をもらっている方が対象(今回調査から新設)

(6) 家計支出

1年前と比較した家計支出は「増えた」（「増えた」と「やや増えた」の合計）が78.5%と最も多く、次いで「変わらない」16.7%、「減った」（「減った」と「やや減った」の合計）4.8%が続いた（図表12）。D.I.は73.7と前回調査から11.4ポイント上昇した。食料品や日用品など様々な商品やサービス価格の値上げが続いており、家計支出が増加している。年代別にみても全ての年代で大幅なプラスとなっている（図表13）。

また、**今後の家計支出の増減**についても「増える」（「増える」と「やや増える」の合計）が78.3%と最も多く、次いで「変わらない」15.8%、「減る」（「減る」と「やや減る」の合計）5.9%の順となった（図表14）。D.I.は72.4となり、年代別にみても全ての年代で大幅なプラスとなっている（図表15）。

(7) 物価

1年前と比較した物価水準は96.9%が「上がった」（「上がった」と「やや上がった」の合計）と回答した（図表16）。また、**1年後の物価水準**についても96.0%が「上がりそう」（「上がりそう」と「やや上がりそう」の合計）と回答しており、物価の先高観は強い状態となっている。

県内の賃上げの広まりを受け、本調査でも雇用・所得環境に対する不安は減退しつつあることがうかがえ、現在の暮らし向きに改善の動きがみられた。一方、物価高に起因する家計支出の増加に対しての懸念は根強く、賃上げの持続性にも慎重な見方が目立つ。

今後も物価高に負けない賃上げを続けなければ、消費マインドが上向かず、県内景況の改善の足かせになる。物価と賃金の好循環に向け動き出したとは言え、まだまだ予断を許さない状況にある。経済回復を確実にし、持続性のあるものにするためにも、将来不安軽減に向けた施策が求められている。

以上

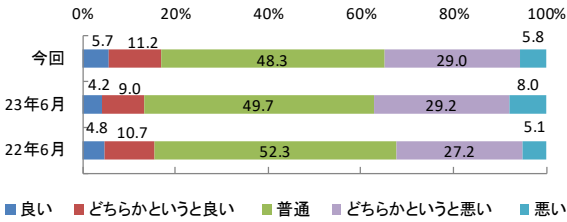
【本件に関するお問い合わせ】 ㈱九州経済研究所（TEL 099-225-7491）

資料（図表によっては四捨五入の関係上、合計が100にならない場合がある）

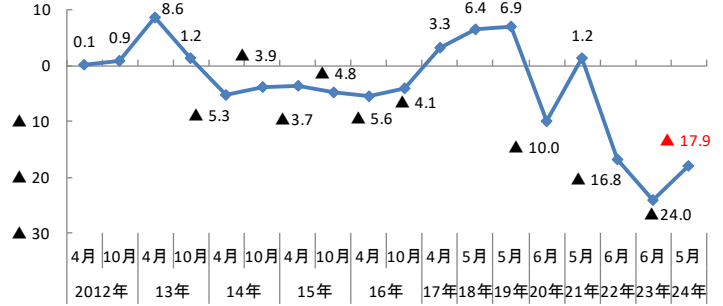
図表1 現在の暮らし向き (単位: %)

項目	22年6月	23年6月	今回
良い	4.8	4.2	5.7
どちらかというが良い	10.7	9.0	11.2
普通	52.3	49.7	48.3
どちらかというが悪い	27.2	29.2	29.0
悪い	5.1	8.0	5.8
D.I.	▲ 16.8	▲ 24.0	▲ 17.9

上記をグラフ化



現在の暮らし向きD.I.の推移



図表2 現在の暮らし向きD.I.(男女別・年代別)

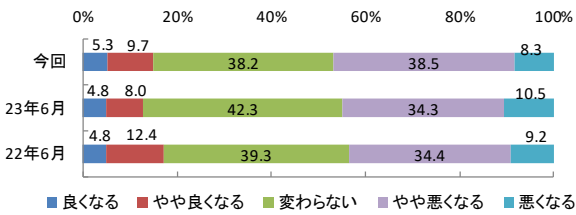
年代	22年6月	23年6月	今回
全体	▲ 16.8	▲ 24.0	▲ 17.9
男性	▲ 19.8	▲ 28.0	▲ 19.6
女性	▲ 14.1	▲ 20.8	▲ 16.7
10代	-	50.0	33.4
20代	33.4	4.7	▲ 11.1
30代	6.8	1.0	▲ 2.5
40代	▲ 17.1	▲ 33.9	▲ 16.4
50代	▲ 19.7	▲ 33.7	▲ 21.2
60代	▲ 20.0	▲ 23.8	▲ 23.4
70代以上	▲ 31.5	▲ 34.2	▲ 34.6

注) 16年までは年2回調査実施、17年以降は年1回調査に変更。図表2~9、12~15も同じ

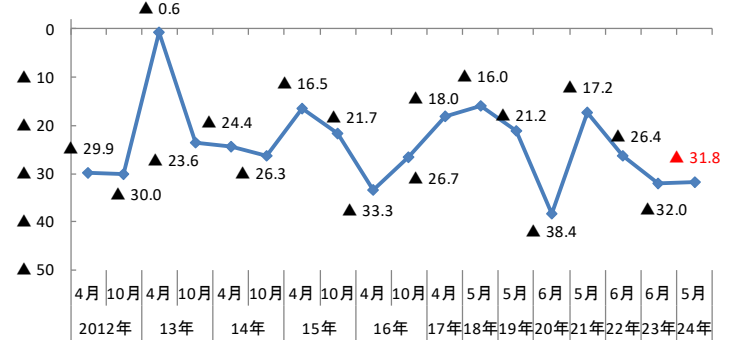
図表3 今後の暮らし向き (単位: %)

項目	22年6月	23年6月	今回
良くなる	4.8	4.8	5.3
やや良くなる	12.4	8.0	9.7
変わらない	39.3	42.3	38.2
やや悪くなる	34.4	34.3	38.5
悪くなる	9.2	10.5	8.3
D.I.	▲ 26.4	▲ 32.0	▲ 31.8

上記をグラフ化



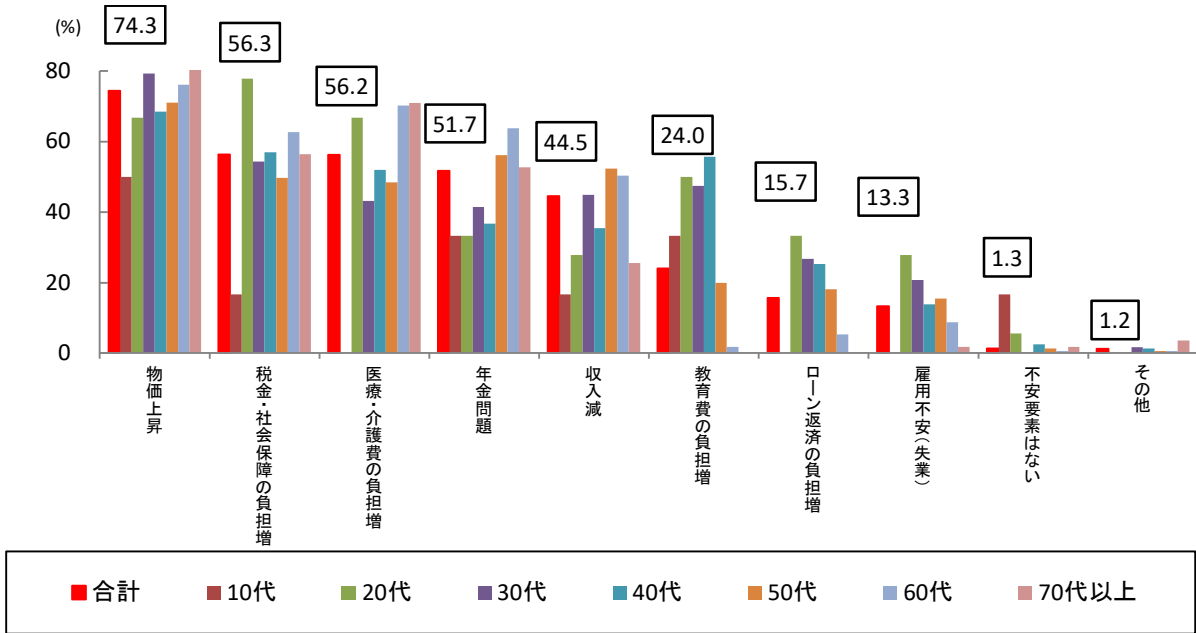
今後の暮らし向きD.I.の推移



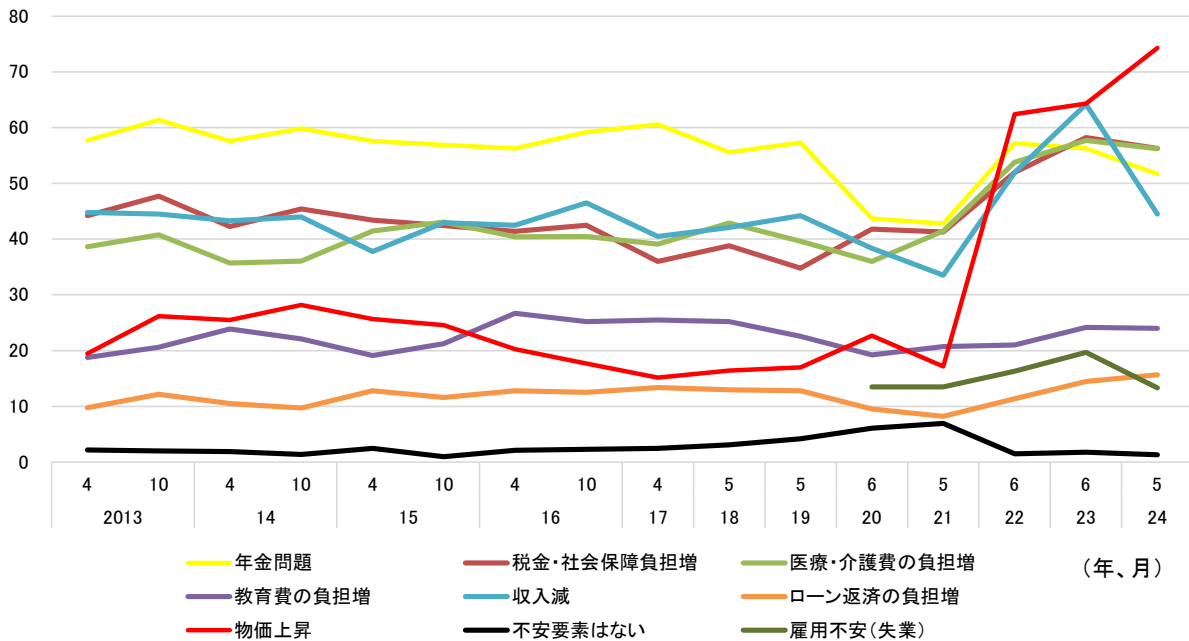
図表4 今後の暮らし向きD.I.(年代別)

年代	22年6月	23年6月	今回
全体	▲ 26.4	▲ 32.0	▲ 31.8
10代	-	0.0	0.0
20代	40.1	▲ 9.5	▲ 5.5
30代	▲ 5.1	▲ 11.0	▲ 14.6
40代	▲ 17.2	▲ 30.7	▲ 24.1
50代	▲ 28.0	▲ 36.7	▲ 34.8
60代	▲ 38.9	▲ 42.7	▲ 42.7
70代以上	▲ 46.2	▲ 45.6	▲ 49.1

図表 5-1 将来の経済的な不安要素



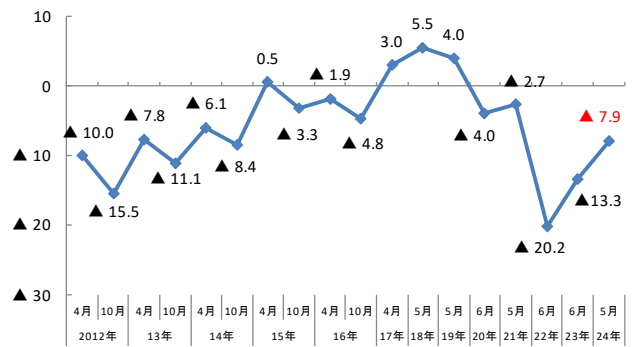
図表 5-2 不安要素の推移



図表6 家計収入(1年前比) (単位:%)

項目	22年6月	23年6月	今回
増えた	3.2	5.3	4.5
やや増えた	13.1	16.7	17.5
変わらない	47.2	42.7	48.2
やや減った	21.7	24.0	19.2
減った	14.8	11.3	10.7
D.I.	▲ 20.2	▲ 13.3	▲ 7.9

家計収入D.I.の推移



図表7 家計収入D.I.(年代別)

年代	22年6月	23年6月	今回
全体	▲ 20.2	▲ 13.3	▲ 7.9
10代	-	▲ 100.0	▲ 16.7
20代	46.6	28.6	50.1
30代	▲ 5.1	8.0	13.8
40代	▲ 6.1	0.1	11.3
50代	▲ 14.2	▲ 14.9	▲ 7.6
60代	▲ 47.1	▲ 33.6	▲ 27.5
70代以上	▲ 33.3	▲ 51.4	▲ 38.1

図表8 今後の家計収入 (単位:%)

項目	今回
増える	2.8
やや増える	15.7
変わらない	49.8
やや減る	20.7
減る	11.0
D.I.	▲ 13.2

図表9 今後の家計収入D.I.(年代別)

年代	今回
全体	▲ 13.2
10代	▲ 33.3
20代	33.2
30代	11.2
40代	11.4
50代	▲ 13.6
60代	▲ 34.5
70代以上	▲ 45.4

図表10 給与・賃金(1年前比)

(単位:%)

	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	給与・賃金D.I.	家計収入D.I. (再掲)
全体	31.2		50.4	18.4		12.8	▲ 7.9
	5.1	26.1		8.2	10.2		
10代	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	▲ 16.7
20代	12.5	50.0	25.0	12.5	0.0	50.0	50.1
30代	6.9	37.3	46.1	4.9	4.9	34.4	13.8
40代	5.3	29.3	49.3	12.0	4.0	18.6	11.3
50代	6.7	23.9	50.0	5.2	14.2	11.2	▲ 7.6
60代	0.9	15.2	57.1	11.6	15.2	▲ 10.7	▲ 27.5
70代以上	0.0	10.0	60.0	10.0	20.0	▲ 20.0	▲ 38.1

注)企業等から給与(賃金)をもらっている方のみ回答(452人)

図表11 今後の給与・賃金

(単位:%)

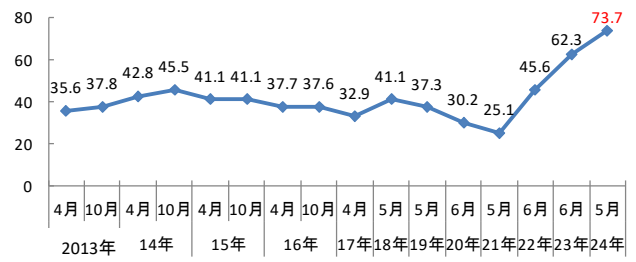
	増える	やや増える	変わらない	やや減る	減る	給与・賃金D.I.	今後の家計収入D.I. (再掲)
全体	21.8		59.0	19.1		2.7	▲ 13.2
	3.7	18.1		9.0	10.1		
10代	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3
20代	6.3	43.8	31.3	12.5	6.3	31.3	33.2
30代	5.7	32.4	52.4	4.8	4.8	28.5	11.2
40代	7.9	15.8	67.1	6.6	2.6	14.5	11.4
50代	3.0	12.7	62.7	9.0	12.7	▲ 6.0	▲ 13.6
60代	0.0	10.9	56.4	15.5	17.3	▲ 21.9	▲ 34.5
70代以上	0.0	0.0	80.0	0.0	20.0	▲ 20.0	▲ 45.4

注)企業等から給与(賃金)をもらっている方のみ回答(454人)

図表12 家計支出(1年前比) (単位: %)

項目	22年6月	23年6月	今回
増えた	20.7	36.2	35.8
やや増えた	36.9	35.8	42.7
変わらない	30.4	18.3	16.7
やや減った	8.6	6.5	3.5
減った	3.4	3.2	1.3
D.I.	45.6	62.3	73.7

家計支出D.I.の推移



図表13 家計支出D.I.(年代別)

年代	22年6月	23年6月	今回
全体	45.6	62.3	73.7
10代	-	0.0	50.0
20代	59.9	57.1	61.0
30代	57.6	72.0	80.2
40代	51.5	75.0	91.2
50代	43.9	53.7	68.3
60代	34.5	54.6	70.7
70代以上	55.5	71.4	65.5

図表14 今後の家計支出 (単位: %)

項目	今回
増える	38.0
やや増える	40.3
変わらない	15.8
やや減る	4.2
減る	1.7
D.I.	72.4

図表15 今後の家計支出D.I.(年代別)

年代	今回
全体	72.4
10代	50.0
20代	55.5
30代	72.4
40代	91.2
50代	71.6
60代	67.8
70代以上	70.9

図表 16 1年前と比較した物価水準と1年後の物価水準

